

[招待講演]

学術変革領域(B)「組合せ遷移の展開に向けた計算機科学・工学・数学によるアプローチの融合」の概要と今後の研究活動について

伊藤 健洋†

組合せ遷移とは、「状態空間上での遷り変り」を数理モデル化・解析する新しいアルゴリズム理論である。その概念は、理論から応用まで多種多様な分野に現れるが、アルゴリズム技術利用のハードルは高い。2020年度新設の科研費・学術変革領域研究(B)に採択された本研究領域では、研究でも実務でも障壁なく、組合せ遷移のアルゴリズム技術を活用するための共通基盤を構築する。計算機科学・工学・数学の三分野から集まった研究者が協働し、組合せ遷移のアルゴリズム基盤、実装技術基盤、数学基盤の構築を目指す。本講演では、我々の研究領域の概要、これまでの活動、今後の活動について紹介したい。

† 東北大学 大学院情報科学研究科